

令和7年第6回（9月）定例会

一 般 質 問 要 旨

高 浜 町 議 会

令和7年第6回（9月）定例会一般質問一覧表

令和7年10月7日（火）AM9:00～

令和7年10月8日（水）PM1:30～

受付	議席	氏名	要旨	答弁者	質問時間
1	11	廣瀬とし子	1. 高浜中学校への自転車通学について 2. 城山荘・城山公園について	町長及び関係課長	40分
2	6	矢野秀夫	1. 若狭高浜病院の改修計画と支援について	町長及び関係課長	40分
3	1	阪本新也	1. シンボルロード及び若宮海岸線延伸について 2. 関屋川上流の治山堰堤及び下流河川の維持管理について 3. 農業継続の支援としての農業機械補助について	町長及び関係課長	40分
4	7	西野朋宏	1. クマによる人的被害の防止と撃退スプレーの活用について	町長及び関係課長	40分
5	10	上尾徳郎	1. 「シーサイドライン」の若宮海岸から立石、国道27号線までの延伸について 2. 城山荘・城山公園再整備と白浜グランピングについて 3. 駅前通り再整備「シンボルロード」と旧役場敷地利活用について 4. 建設中の高浜公園、社会福祉施設の施設管理について 5. 乾式貯蔵施設設置計画に関する取り組みについて	町長及び関係課長	40分
6	8	井上順也	1. 漁業者支援について 2. 物価高騰経済対策支援について 3. キャンプ場のルール化実施状況について 4. 独占業務違反の対応について 5. 学校体育館エアコン設置について	町長及び関係課長	40分
7	9	大塚ひとみ	1. 町長選公約の具体的施策について 2. ふるさと納税 寄付額拡大について	町長及び関係課長	40分
8	14	小幡憲仁	1. 西嶋町長の原子力政策の取り組みについて 2. 第3セクター「いきいきタウン高浜」の今後について 3. 物価高対策について	町長及び関係課長	40分
9	2	井上聡美	1. 財政カードから読み解く町の構造～人件費と物件費～	町長及び関係課長	40分

令和7年第6回（9月）定例会一般質問一覧表

令和7年10月7日（火）AM9:00～

令和7年10月8日（水）PM1:30～

受付	議席	氏名	要旨	答弁者	質問時間
10	5	釣本音次	1. 年金生活者支援給付金制度を利用して収入を増やす方法について 2. 物価高騰対策の更なる見直しを求むについて 3. 文化会館の新しい活用により魅力的でやりがいのある職場の創出について 4. 新高浜町社会福祉施設事業の経緯について	町長及び関係課長	40分
11	4	松岡茂和	1. 野瀬町政の継承について 2. 西嶋町政の重点施策について	町長及び関係課長	40分

令和7年 第6回 定例会（9月）一般質問通告書

受領No. 3

令和7年9月10日

通告者	議席番号	氏名	質問所要時間 約40分
	1番	阪本新也	

質問の件名及び要旨	
今回もインフラ整備状況、計画など大きく3点一般質問する。	
1. シンボルロード及び若宮海岸線延伸について	
それぞれ昨年9月、12月に一般質問させて頂いた。シンボルロードについては令和6年度から福井県により事業化され、測量・設計等の業務を実施する予定であると聞いており、若宮海岸線延伸も県との協議で良い方向になって来ていると回答を頂いている。そこで次の3点を伺う。	
(1) 現在の状況は。(両事業とも)	
(2) 次年度の予定は。(両事業とも)	
(3) 随時住民の方々に進捗状況の説明・お知らせを行っているか。(シンボルロードのみ)	
以上、簡潔明瞭に願います。	
2. 関屋川上流の治山堰堤及び下流河川の維持管理について	
高浜町内を流れる関屋川は、町民の生活、農業用水、自然環境の保全など、多面的な役割を担う重要な二級河川である。その上流には、山地からの土砂流出を抑制するための治山堰堤が6か所設置されている。	
これらの治山堰堤については、専門的には「満砂」が設計上の完成形とされており、むやみに土砂を撤去するのではなく、その状態で流域の土砂移動を制御し、下流の災害リスクを抑制するという考え方が現在の主流であることは承知している。	
しかしながら、現実には堰堤から越流した土砂や流木が関屋川本流に流入し、	

下流域での流下機能の低下、川底の上昇、雑草や樹木の繁茂、倒木の堆積などが見られる。こうした状況により、豪雨時の流量処理能力の低下や、内水氾濫のリスクが高まることが懸念される。
加えて、関屋川本流の町内には、地域の圃場に農業用水を供給する大きな頭首工があり、堆積土砂によってゲートの開閉操作が困難となる事例が報告されている。このまま放置すれば、農業用水の安定供給にも支障を来しかねない状況である。
については、以下の点について町の見解を伺う。
(1) 関屋川上流の治山堰堤の現況について、町として県や関係機関と連携し、構造安全性や土砂の越流状況を把握されているか。また、災害リスクの観点から定期的な実地確認の実施状況はどうか。
(2) 堰堤下流の関屋川本流において、土砂や流木の堆積、草木の繁茂が進み、流下機能が低下している箇所への対応について、県に対して維持管理（浚渫・伐開）の要望を行っているか。その要望実績と今後の対応方針は。
(3) 関屋川本流の頭首工付近において、堆積土砂が取水機能やゲート操作に支障を及ぼしているという実情を町として把握されているか。そのうえで、県に対して適切な対応を求めるとともに、町としても必要に応じた支援や現地確認を行う考えはあるか。
以上、簡潔明瞭に願います。
3. 農業継続の支援としての農業機械補助について
農業継続の支援として実施されている農業機械補助について質問する。
まず、現在の農業を取り巻く情勢について申し上げます。
全国的にコメの価格は一部で高騰傾向にある一方で、資材や燃料費の高止まり、農機具価格の上昇が農家の経営を圧迫しており、手取りはさほど増えてい

令和7年 第6回 定例会（9月）一般質問通告書

受領No. 4

令和7年9月18日

通告者	議席番号	氏名	質問所要時間 約40分
	7番	西野朋宏	

質問の件名及び要旨
<p>1. クマによる人的被害の防止と撃退スプレーの活用について</p> <p>近年、クマによる人身被害が全国的に多発しており、特に令和5年（2023年）には環境省のまとめによると全国で219人がクマに襲われる被害が発生し、統計開始以来、過去最多となった。</p> <p>令和6年（2024年）も複数の都道府県で死亡事故が発生しており、専門家からも「クマの人間に対する警戒心が薄れてきている可能性がある」との指摘がなされている。</p> <p>こうした背景のもと、高浜町でも、山間部や農地周辺におけるクマの目撃情報や痕跡の報告が相次いでいると伺っている。獣害駆除の関係者や、町職員の方々による早朝や夕方の追い払い活動など、大変な業務に従事いただいていることに、まずは深く敬意を表する。</p> <p>しかしながら、いくら注意をしても、通学路における子どもたちの登下校や、山林・農地で作業をしている方々が、ぼったりとクマと遭遇してしまう可能性はゼロではない。</p> <p>このような事態に備えた具体的な対処法として、福井県が作成している「クマに注意！」パンフレットには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クマに出会わない工夫 ・遭遇してしまったときの行動（背を向けない、大声を出さないなど） ・撃退スプレーの携行 <p>など、具体的な行動指針が示されている。</p> <p>このうち、「クマ撃退スプレー（熊用忌避スプレー）」は、クマが間近に迫った場合など、身の危険を感じた場面で命を守る最後の手段として効果があると</p>

<p>されており、専門家の間でも有効性が一定認められている。</p> <p>ただし、この撃退スプレーは一般的な防犯スプレーとは異なり、容量・成分が特別であり、価格も1本あたり1万円～2万円程度と高額であることから、個人が自主的に準備するには一定の負担となっている。</p> <p>一方で、追い払い用の爆竹・花火などは町が備品として配布・使用していることを考えると、命を守る目的において、クマ撃退スプレーも同様の支給対象または補助対象とすることができないかと考える。</p> <p>そこで、以下の点について町の見解を伺う。</p> <p>(1) 本町における直近のクマの出没状況や、対応実績について伺う。</p> <p>(2) 通学路や作業現場など、住民の身の安全を守るために現在講じている対策や今後の方針について伺う。</p> <p>(3) 福井県のパンフレット等でも紹介されている「クマ撃退スプレー」について、追い払い活動に従事する町職員や獣害対策関係者、あるいは通学支援・農業者などに対して、備品としての支給または購入補助を行う考えはあるか伺う。</p> <p>(4) 町内でのクマ対策の実効性を高めるために、撃退スプレーに限らず、音声機器や電気柵などの新たな技術導入について、今後どのように検討されるか伺う。</p>

令和7年 第6回 定例会（9月）一般質問通告書

受領No. 5

令和7年9月24日

通告者	議席番号	氏名	質問所要時間 約40分
	10番	上尾徳郎	

質問の件名及び要旨
1. 「シーサイドライン」の若宮海岸から立石、国道27号線までの延伸について
海沿いの道路ネットワーク強化を目的とした概略設計策定業務について、県費を財源にする提案があったが、次の項目について伺う。
(1) 共創会議で海岸道路シーサイドラインとして要望してきたが、事業計画された経緯と今後の計画は。
(2) 整備されている若宮海岸の道路を延伸の計画と思うが、接している既存の海岸道路（近畿自然歩道）との関連整備は。また、脇坂公園から伸びているシーサイドライン「はまなすロード」との接続は計画されないのか。
(3) 海岸道路沿いの「旧若宮園スマートタウンプロジェクト」の事業計画は。
2. 城山荘・城山公園再整備と白浜グランピングについて
城山公園一帯再整備に向けて、「若狭湾プレミアムリゾート構想」で県外3社と基本協定を結び、「城山荘・城山公園プロジェクト」の事業化が一步進んだ。併せて、民間と連携した「白浜グランピングプロジェクト」についても次の項目について伺う。
(1) 若狭湾プレミアムリゾート構想とは。また、基本協定の内容と結ばれた経緯、今後の計画は。
(2) 城山荘を宿泊機能付きレストランにリノベーション（既存の建物を改修し、新築の状態よりも価値を高める）と増築による整備計画とされているが、町民が望んでいるコンベンション機能は改修整備されるか。また、旧ボート会館の取り扱いは。

(3) 公園整備では、ワークショップや検討委員会を重ねて、整備計画がまとまっていると思うが、プレミアムリゾート構想での公園整備計画は。
(4) シーサイドラインに沿った白浜グランピング計画がされているが、現在計画中の松原内の道路整備計画とグランピング計画の進捗状況は。
3. 駅前通り再整備「シンボルロード」と旧役場敷地利活用について
「シンボルロード」の整備計画がまとまり県道整備事業として進められ、測量も行われている。用地交渉などは町が行うことになっており高浜小学校前県道物権補償工事設計業務委託料が補正予算に計上されているが、県道整備事業に向けた進捗状況と今後の計画は。旧役場の解体工事も始まるが、跡地の活用として住宅や公園の建設などが計画されていたが、跡地活用の進捗状況は。
4. 建設中の高浜公園、社会福祉施設の施設管理について
公共施設は施設の建設整備が目的ではなく、施設の活用と管理が重要と考える。建設中の高浜公園と社会福祉施設の管理運営体制構築と施設設置条例の検討など、進捗状況について伺う。
5. 乾式貯蔵施設設置計画に関する取り組みについて
原子力対策特別委員会において、関西電力より「乾式貯蔵施設設置計画に関する取り組み」について説明を受け質疑を行った。その後、町長との「意見交換」を行い、その結果を受けて原子力対策特別委員会として、町長に対して関西電力の「不退転の覚悟」には「賛同しかねる」との申し入れを行った。また、関西電力の「新たな地域振興の仕組み」では、具体的な寄付など定かではないが、4基の発電所を稼働する立地町として、例えば上水道センター更新計画など積極的に「寄付」を申し入れるべきである。町長の見解を伺う。

令和7年 第6回 定例会（9月）一般質問通告書

受領No. 6

令和7年9月25日

通告者	議席番号	氏名	質問所要時間 約40分
	8番	井上順也	

質問の件名及び要旨
1. 漁業者支援について
燃油高騰や、2022年4月に起きた知床の観光遊覧船の事故を受けて、小型遊漁船法改正に伴い、漁業者の事業継続が困難になっている。
以下の点について伺う。
(1) 漁業船の省エネエンジン取替に多大な費用がかかるとお聞きした。過去に町として補助事業を実施したが、その結果と未取替の対象船数とその取替補助支援はできないか。
(2) 小型遊漁船法改正に伴い、いかだ等の救命設備の備え付けが義務化され、遊漁船事業者にとっては死活問題となっている。設備の支援についても、国の補助が1/2と大変厳しい状況である。町として実態把握と事業継続のための補助支援ができないか。
2. 物価高騰経済対策支援について
町長は所信表明で高浜町に住んで良かった、これからも住みたいと思える高浜町にと結ばれていた。現在、物価高騰で年金暮らしの方などは、大変厳しい生活をされている。
そのような中、今年5月に高浜町は1世帯1万円の赤ふん商品券を配布されたが、お米など5K5千円など、昨年より倍以上になるなど所得がおいついていなく大変苦しいとの声を聞いた。その点を踏まえ以下の点を伺う。

(1) 町長の公約の必要な物価高対策の実行とは、どのようなことか。若狭町のような町民一人1万円の商品券の配布などはできないか。
(2) 今年6月に視察した、六ヶ所村では物価高騰対応への町民への還元策は、町独自で電気代の補助を世帯当たり、年間2万4千円の補助をしていると聞き、当町においても原子力発電所立地のメリットとして、高浜町に住み続けて頂くためにも町独自の電気代の補助を考えるべきと考えるができないか。
3. キャンプ場のルール化実施状況について
昨年9月の定例会での一般質問で、キャンプ場の近隣住民への公害対策についてと質問し、理事者からはキャンプ場利用ルールを充実させ、ホームページで公表する。利用ルールを守らなければ利用できなくなる事を意識、認識させていくとの答弁があったが、本年8月13日にキャンプ場で騒音問題が発生しており、大変迷惑な状況であった。
(1) 今夏の海水浴客入込数とキャンプ場利用者数は。
(2) キャンプ場使用ルール化と広報状況、重低音スピーカ騒音等防止対策ができないか。
4. 独占業務違反の対応について
独占業務とは、国家資格および業務独占資格を有する人が携わることができる業務を言う。税理士や行政書士などの士業などが担うもので、例えば、税理士の場合には、税務に関する相談、手続、書類作成が独占業務となっており、資格を持たない人がそれらの業務を行うことはできず、仮に無資格者が携わった場合には、違法となり処罰対象となる。
中でも、行政書士は行政機関に提出する書類に携わるが、これらの業務で無資格者による違反事例が後を絶たない状況があるとお聞きした。

令和7年第6回定例会（9月）一般質問通告書

受領No. 9

令和7年9月25日

通告者	議席番号	氏名	質問所要時間 約40分
	2番	井上 聡 美	

質問の件名及び要旨	
1. 財政カードから読み解く町の構造～人件費と物件費～	
毎年3月下旬から4月上旬に総務省が類似団体比較カードを公表している。すでに令和6年度の決算は完了してるが、今回は令和5年度の類似団体比較カードをもとに、高浜町の財政状況と支出構造について考える。	
高浜町は、財政力指数1.33、経常収支比率70.4%と、全国でもトップクラスの健全な財政状況である。これは、町民の皆さんの努力と、行政の工夫の積み重ねによるものであり、誇るべき成果だと感じている。	
一方で、類似団体との比較から見えてくる課題や改善の余地もあるのではないかと。そうした思いから、今回は「人件費」と「物件費」に着目し、町のしくみを読み解く視点で質問する。令和6年度の決算結果も含め答弁願う。	
(1) 人件費の割合が低い点について	
①人件費の経常収支比率が類似団体より6.6ポイント低いことについて	
・人件費の経常収支比率：高浜町18.1%、類似団体24.7%	
・人口千人当たりの職員数：高浜町17.76人、類似団体10.85人	
職員数が多いにもかかわらず、人件費の割合が低いという点について、町としてどのように分析されているか。	
②ラスパイレス指数の低さとの関連について	
高浜町のラスパイレス指数は、類似団体的にも全国的にも低水準。	
・ラスパイレス指数：高浜町92.3、類似団体95.7	
人件費割合の低さはラスパイレス指数の低さを反映していると考えられるが、町としてどのように分析しているか。	

ラスパイレス指数の状況(各年4/1現在)																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>類型</th> <th>団体名</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>平均年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">II-2</td> <td>類似団体</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.6</td> <td>95.7</td> <td>42.0歳</td> </tr> <tr> <td>高浜町</td> <td>92.4</td> <td>92.4</td> <td>91.6</td> <td>92.3</td> <td>41.0歳</td> </tr> <tr> <td>おおい町</td> <td>92.4</td> <td>92.8</td> <td>92.0</td> <td>92.5</td> <td>41.9歳</td> </tr> <tr> <td>美浜町</td> <td>93.0</td> <td>93.3</td> <td>93.7</td> <td>95.0</td> <td>41.2歳</td> </tr> <tr> <td>III-2</td> <td>若狭町</td> <td>91.3</td> <td>91.6</td> <td>91.4</td> <td>92.3</td> <td>44.7歳</td> </tr> </tbody> </table>	類型	団体名	R3	R4	R5	R6	平均年齢	II-2	類似団体	95.5	95.5	95.6	95.7	42.0歳	高浜町	92.4	92.4	91.6	92.3	41.0歳	おおい町	92.4	92.8	92.0	92.5	41.9歳	美浜町	93.0	93.3	93.7	95.0	41.2歳	III-2	若狭町	91.3	91.6	91.4	92.3	44.7歳	
類型	団体名	R3	R4	R5	R6	平均年齢																																		
II-2	類似団体	95.5	95.5	95.6	95.7	42.0歳																																		
	高浜町	92.4	92.4	91.6	92.3	41.0歳																																		
	おおい町	92.4	92.8	92.0	92.5	41.9歳																																		
	美浜町	93.0	93.3	93.7	95.0	41.2歳																																		
III-2	若狭町	91.3	91.6	91.4	92.3	44.7歳																																		
※総務省HP「地方公共団体給与情報等公表システム」より																																								
③特別職の給与水準と職員のモチベーションについて																																								
町長、副町長、教育長の給与水準は類似団体より高い一方で、職員の平均年齢は41.0歳と若くラスパイレス指数は低い。このような給与構造が職員のモチベーションに与える影響について、町の見解を伺う。																																								
特別職の給料等の状況 単位:円																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>類型</th> <th>団体名</th> <th>町長</th> <th>副町長</th> <th>教育長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">III-2</td> <td>類似団体</td> <td>730,400</td> <td>600,200</td> <td>554,900</td> </tr> <tr> <td>高浜町</td> <td>850,000</td> <td>670,000</td> <td>560,000</td> </tr> <tr> <td>若狭町</td> <td>680,000</td> <td>670,000</td> <td>560,000</td> </tr> </tbody> </table>	類型	団体名	町長	副町長	教育長	III-2	類似団体	730,400	600,200	554,900	高浜町	850,000	670,000	560,000	若狭町	680,000	670,000	560,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>類型</th> <th>団体名</th> <th>町長</th> <th>副町長</th> <th>教育長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">II-2</td> <td>類似団体</td> <td>714,500</td> <td>594,300</td> <td>541,100</td> </tr> <tr> <td>おおい町</td> <td>850,000</td> <td>670,000</td> <td>560,000</td> </tr> <tr> <td>美浜町</td> <td>850,000</td> <td>670,000</td> <td>560,000</td> </tr> </tbody> </table>	類型	団体名	町長	副町長	教育長	II-2	類似団体	714,500	594,300	541,100	おおい町	850,000	670,000	560,000	美浜町	850,000	670,000	560,000			
類型	団体名	町長	副町長	教育長																																				
III-2	類似団体	730,400	600,200	554,900																																				
	高浜町	850,000	670,000	560,000																																				
	若狭町	680,000	670,000	560,000																																				
類型	団体名	町長	副町長	教育長																																				
II-2	類似団体	714,500	594,300	541,100																																				
	おおい町	850,000	670,000	560,000																																				
	美浜町	850,000	670,000	560,000																																				
※総務省HP「令和5年度類似団体比較カード」より																																								
(2) 物件費の割合が高い点について																																								
①物件費の経常収支比率が類似団体より3.9ポイント高いことについて																																								
・物件費の経常収支比率：高浜町18.3%、類似団体14.4%																																								
物件費の割合の高さについて、町はどのように分析しているか。																																								
②委託料や指定管理料も要因のひとつと考えるが、その妥当性や費用対効果について、どのように検証されているか。																																								
③委託業務は、効率性や専門性確保という面では有効な手段。町民目線で見たとき「委託してよかった」と実感できる成果があるかどうか、町としてどのように評価されているか。																																								

令和7年 第6回 定例会（9月）一般質問通告書

受領No. 11

令和7年9月25日

通告者	議席番号	氏名	質問所要時間 約40分
	4番	松岡茂和	

質問の件名及び要旨	
野瀬町政の継承を掲げ、西嶋新町長が誕生して所信表明されたが、町政の基本理念と重点施策について伺う。	
1. 野瀬町政の継承について	
5期17年間の野瀬町政の一端を担ってこられたが、野瀬町政の成果と課題をどのように総括されて、何を継承されていかれるのか伺う。	
2. 西嶋町政の重点施策について	
町政運営の重点姿勢として安心して暮らせる町の実現を目指し、6項目の重点施策を挙げておられるが、その具体策について伺う。	
① 子育て、教育環境の充実について	
子育て環境日本一を目指し、子育ての福祉、教育経費の無償化などで、県下有数の合計特殊出生率となったが、これは豊かな財政による個人への経済的支援によるもので、ある程度の成果はあがるが、財政支援だけの高浜町の子育て環境日本一はありえない。立派で豪華なこども園ができてても正規な児童福祉施設もなく、多くの子どもが子供の貧困解消の子供食堂に集まる現状、小児科医師や産婦人科など医療体制の不備、子供の人権権利擁護体制、男女共同参画推進法による努力義務である、高浜町の男女共同参画プランも廃止されたことでワーク&バランス推進や企業の男性の育児休暇取得、学童保育や、土日夜間延長保育など就労環境、地域、社会のこども見守り体制など課題の行政の取り組み計画もない現状をどうとらえているのか。県下で唯一人権のまちづくり条例がありながら、順守されていない。本気度が見受けられないが子育て環境日本	

一を目指す目的は何か。
② 地域医療の安定と福祉の充実
医師不足で危機的状況であった野瀬町政誕生時、福井大学と高浜病院、高浜町が連携し、寄付講座を設け、地域医療体制を構築している。是も、全国的な医師不足の中、豊かな財源があるからできたことである。社会保険高浜病院も社会保険庁からJCHOに経営が移ったが、依然経営は苦しいものの病床利用率は高く高浜唯一の総合病院として最も重要な役割を担っているが、医師、看護師をはじめレントゲン技師など運営人材の不足、MRIをはじめ、医療機器の老朽化、病院建屋の老朽化が深刻な問題となっている。この病院は公立病院でないため町税で直接関与できないが、国の原子力防護施設でもあり、運営を死守する必要がある。そこで、病院、地域医療対策として、原子力立地振興策として関西電力からの寄付金交付が予定されているがこれらの活用で、病院改修や、MRI、CT、透析、レントゲン、胃カメラなど医療機器の購入、さらに医師不足解消に向け、医師や技師を目指した大学生の就学費支援や医師の町内就業支援、町内勤務の医療、福祉関係技術者の資格取得にかかる経費補助するなどの実施をする考えはないか伺う。
次に福祉対策について、来春オープンする総合福祉施設の障害者、高齢者、介護予防、地域包括ケアの拠点として整備されるが、障害者や高齢者、要介護者に求められるのは、老人ホームや障害者療護施設、福祉施設、ケアハウスなどの生活拠点である。高浜には、これらの施設が不足しており、要介護独居老人の自宅での孤独死が増えかねない。野瀬町長の選挙公約である高齢者住宅について結節に向け調査するという回答があったが、実施の有無、内容を問う。
③防災体制の見直しと強化
シーサイドラインの若宮道路調査費が予算化された。これは、県道音海中津海線の延長、中津海立石、若宮、城山さらに和田、青戸と高浜町を横断する海岸線を原子力避難道路とすることが、国の計画に採用されたことによる。
能登の震災で多くの家屋が崩壊し、下敷き、火災、津波を受け多くの方が亡

